

谷 一夫

【あるタレントの死】

昨年未、逸見政孝さんが亡くなった。ひょうきんで暖かい人柄が、茶の間の人気者であった。48歳の生涯はいかにも短く、さぞ無念であったろうと察するにあまりある。

遺族と病院の間のトラブルが大きく報道されたが、これについてはあらためて考えてみたい。

サナトロジーという学問がある。日本語で「死学」という。文字どおり「死」についてのあらゆることを研究するのである。

アメリカやドイツでは80%以上の方が病院で死ぬようになり、子供たちは身近に死を見ることがなくなった。人間は必ず死ぬにもかかわらず、前もって死を体験することはできない。間近に見ることもできない。それならば死について教えようではないかと言うわけで、これらの国では小学校の頃から、学校で「死の準備教育」が行われている。サナトロジーにもとずいた厳密なカリキュラムに従って。

日本でもこういった勉強をするグループがあちこちでできているが、なかなか一般には広まらないのが残念である。日本人は極端に死をタブー視しすぎるように思う。

私自身は、心臓病で訳のわからぬうちにぼっくり死ぬよりは、癌でもなんでもいいから死期を悟って、やり残したことをできるだけやり、家族にもきちんと別れを告げて死んでいきたいと願っている。「命長き故に尊からず」という言葉を逸見さんに贈りたい。

【続. あるタレントの死】

逸見さんの死を巡るトラブルは、最初の病院の医師が、本人と家族に正確に病状を伝えたかどうかのポイントのようである。

週刊誌の情報によると、彼は同じ病院で1年前に検診を受けておりその時は異常がなかった。従って病院としては当然引け目があり、実際よりも軽い表現で説明をした可能性は否定できないように思う。

もう一つの可能性は、告知を受けたとき、当事者が正確に理解できなかったのではないかということである。私も何回か経験があるが、癌であることを告げた患者さんあるいは家族にあとで聞いてみると、「癌という言葉は聞いただけで、頭の中が真っ白になって、あとのことは何も覚えていない」と言う人が多い。十分に時間をかけ、難しい言葉を使わないように気をつけて話したにもかかわらず、である。しかし逸見さんの場合は、病状について話し合う時間も機会も十分あった筈であるから、やはり病院の説明に不足があったのではないかと思わざるを得ない。

彼が侵されたスキルスというのは非常に進行が速く、最初のレントゲン検査で異常がなかったのに、症状がとれないため念のために行なった2週間目の再検査で進行癌と診断された例すらある。いかに進歩した現代医学とはいえ無論限界はあり、逸見さんの遺族にとっての最大の不幸は、限界のどちら側に身を置くかは神の領域であることが理解できず、死を受容できないことにある。

(谷医院院長)

民生総務会事務局の

「お仲間」になりませんか

民生総務の皆様には、会の案内書並びに毎月コスモス通信を一方的にお送りさせていただいております。この度、まごころサービスタワーのセンターのことをどんな風にご理解いただいているのか、お尋ね致しました。

◆有償といふことには何の抵抗もないし、良いことだから頑張るべきだ。

◆利用したいが有償だから人によっては利用が難しいという場合もある。

◆まだまだ分からない。

◆良いことだと思っておりますが、市の高年福祉課との関係がどうなっているのかよく分からないので躊躇して居る。

◆地域にどういった窓口があることは良いことだから、積極的に知らせて欲しい。

◆民生総務会の場で一度話されてはどうか。

等「ご理解をいただいたり」「不十分をご指摘いただいたり」又、「ご質問」や「ご提案」までいろいろいただきました。地域の方々と直接かかわりを持っておいでになられる皆様、この会のことについてお話しただけでしたことは、大変参考となりました。又励ましもたくさんいただき、頑張らなければと思いを強くしております。皆様にはお忙しい中、大変ご迷惑をおかけしました。突然の電話訪問にもかかわらずお対応下さいまして心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

3月の予定

1日 (火)	コスモス通信発行
3日 (木)	一宮ボランティア 篠田、小野、
4日 (金)	運営委員会
7日 (月)	会の説明会 午後3時~4時(事務所)
9日 (水)	定例会 午前10時~11時30分
10日 (木)	午後2時~4時 保健医療福祉普及講演会
11日 (金)	市民会館1F テマ「地域保健医療計画」
14日 (月)	一宮ボランティア 上田紀、小島末、
17日 (木)	運営委員会
18日 (金)	一宮ボランティア 大島、岩本、河合、
21日 (月)	一宮ボランティア 加藤恵、伊藤春、黒田、
23日 (水)	運営委員会
24日 (木)	お休み(春分の日)
25日 (金)	住民参加型在宅福祉サービス全国研究セミナー 東京
28日 (月)	一宮ボランティア 松本、川崎、今川、
31日 (木)	一宮ボランティア 小島は、平松、
	久保、永井、

ボランティアコスモス

お仲間になりませんか

二月十八日、一宮市のボランティアアグリグループの代表者の集まりがありました。小学生から高齢者まで、沢山のグループの中に自分にピッタリのものがあったらお仲間になりませんか。

お世話をしてくださる方は大変ですが、特に小さい頃からの活動参加は自然にボランティア精神が身につく、思いやりの心の豊かな大人に成長されるのではないかと思います。住んでいる地域で各々が何らかの形で参加することで「福祉の街」が出来上がっていくのではないのでしょうか。



高齢者のための シリーズ・ちよつと一品

すり身と豆腐の団子

材料(2人分)

すり身(冷凍)	(75g)	長ネギ	1/4本
豆腐	1/4丁	長芋	4~5cm
人参	小1/2本	卵	1/2個
ゴボウ	小1/4本	小麦粉	大さじ1

作り方

- ①すり身は解凍し、豆腐は十分に水気を切ってつぶす。
- ②ゴボウは小さめのさがきにしてあく抜きし、ネギはみじん切りにする。
- ③人参と長芋はすりおろし、その中に①と②、卵、小麦粉を加えて手でよく混ぜ合わせる。

美味しい食べ方

- ◎スプーンですくって中温の油で揚げる。ゆず醤油・土佐酢・天つゆなどでいただく。
- ◎だしを入れ、煮立った土鍋に、スプーンですくっておとし、白菜、春菊、茸などの野菜といっしょに、ぼん酢でいただく。